

君死にたまふことなかれ（詩碑）

あゝをとうとよ、君を泣く、
君死にたまふことなかれ、
末に生れし君なれば
親のなさはまさりしも、
親は刃やいばをにぎらせて
人を殺せとをしへしや、
人を殺して死ねよとて
二十四までをそだてしや。

掲出歌集 『恋衣』明治38（1905）年1月
初出 「明星」明治37年9月号（晶子26歳）

